

〔デジポックとやま〕

Digi-PoC TOYAMA

ウェルビーイングな世界を切り拓く

2025年度 応募説明会 @ 大阪

5月29日 木

時間 : 15:00-17:30 (開場14:30)

会場 : QUINTBRIDGE

主催



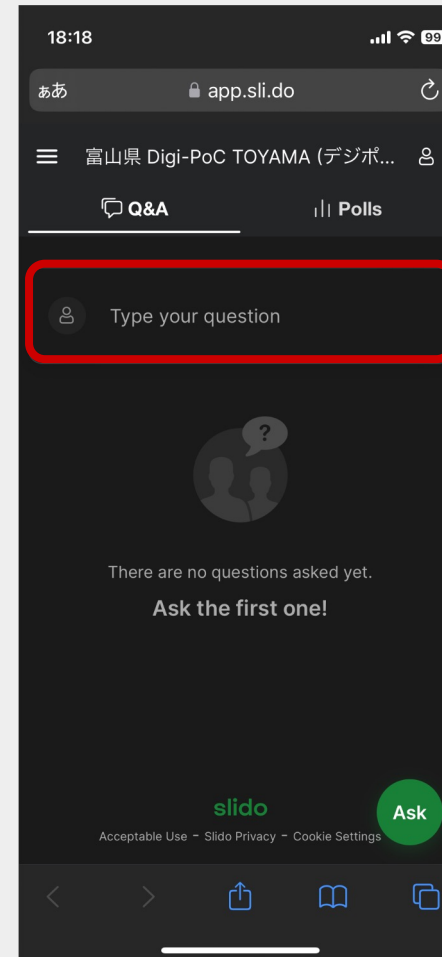
富山県

企画・運営



北陸銀行

本日の説明会では、質問はSlidoで受付します。
QRコードから登録不要で質問可能ですので、ぜひご利用下さい。



質問をご記載下さい。

本日のアジェンダ

本日のイベントは全体2時間の構成となっております。

15:00-	開式
15:02-	QUINTBRIDGE概要紹介
15:07-	知事からのメッセージ
15:10-	「Digi-PoC TOYAMA」概要説明
15:15-	各担当者によるテーマピッチ
15:50-	Q&A
16:10-	県・市職員とのミートアップ
17:30-	会の終了

知事からのメッセージ



Digi-PoC TOYAMA概要説明

富山県は10市4町1村で構成される県です。



富山県の基本データ



県庁所在地	富山市
市町村数	15（10市4町1村）
人口	989,474人(2025年4月1日現在)
平均気温	16.1度（2023年）
面積	4,247.54km（2023年9月現在）

富山県章（県のシンボルマーク）



昭和63年（1988年）12月27日制定。富山県のシンボルでもある立山をモチーフに、その中央にとやまのイニシャル「と」を配しています。大空に向かって躍進する富山県をイメージしています。

三大都市圏からのアクセスも抜群で、東西双方に行き来しやすい立地条件です。



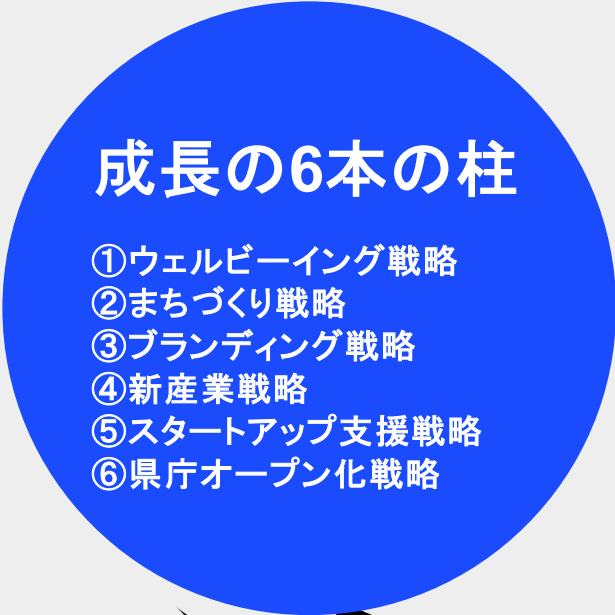
本県では、人口減少・少子高齢化が進む中、新しい富山県のさらなる発展に向け、令和4年2月に「富山県成長戦略」を策定しました。

成長戦略のビジョン
「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けた好循環を創出

1.ウェルビーイングの向上

2.人材の出入り
活性化

3.経済成長



【デジタルトヤマ】
Digi-PoC TOYAMA
ウェルビーイングな世界を切り拓く

実証の場

- ①ビジネスモデルの構築
- ②「実証実験立県とやま」の
全国認知度の向上
⇒ 企業・人材の集積、投資に繋ぐ
- ③富山のウェルビーイングな地域づくり
⇒ 日本中に展開

「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築

昨年度までの実証内容や成果が気になる方は
特設サイトに全て公開しておりますのでぜひご一読下さい。

2024年度実証実験レポート

イベント情報 **Digi-PoC TOYAMA**
2024年度 成果報告会
令和6年度「Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）」実証実験プロジェクト成果報告会開催レポート

2025/03/31

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【レポート】「寿司といえば、富山」のブランディングをDAOの仕組みで推進 (Web3 Times合同会社)

2025/03/14

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
富山が深まる！富山が広がる！
ToyamaConnect
富山のイベント・暮らし・ビジネス情報を見つけ、仲間とつながりながら富山ともっとつながるローカルSNSが登場!!

2025/03/13

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
Digi-PoC TOYAMA

2023/12/26

[詳細を見る](#)

2023年度実証実験レポート

実証実験レポート
DCS
三菱総研DCS株式会社

2023/08/17

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2023年度】一日でも早く「あたり前のくらし」を取り戻すために。「富山県発」衛星データ解析技術で被災箇所の全容把握を目指す (松嶋建設株式会社)

2023/08/15

[詳細を見る](#)

2022年度実証実験レポート

実証実験レポート サポートプロジェクト
【2022年度】【能越ケーブルネット】中山間地域の課題をプラットフォームで解決 地域住民同士の助け合いでウェルビーイングの向上をめざす

2022/05/17

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2022年度】【株式会社TRUSTDOCK】「デジタル身分証」が導き出すスマートな世界 サービスを利用する側にも提供する側にもやさしいデジタル社会に向けて

2022/05/17

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2022年度】【株式会社IoTRY】中小製造業におけるデジタルツインを用いたデータ活用人材の育成事業

2022/05/17

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【レポート】数時間単位で「就農」！求職者と農業事業者のマッチングにより就業機会を最大化、長期雇用の足掛かりに。(株式会社Matchbox Technologies)

2025/02/19

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【現地レポート】「避難所チェックイン×備蓄管理」実証実験が本格始動

2025/02/05

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
「Digi-PoC TOYAMA（デジポックとやま）」Program01の中間報告会を開催いたしました！

2024/11/27

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2023年度】富山県のものづくり企業3社の共通課題の解決に向けて、行動分析などのDXソリューションを導入 (富士通Japan株式会社)

2023/08/15

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2023年度】駐車場の空き情報をAIカメラでセンシング。センサIoTで、人の不安を解消 (株式会社センサーズ・アンド・ワークス)

2023/08/14

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2023年度】DXの力で地方企業の経営の可視化と改善を目指す「DX経営」の伴走支援 (株式会社フォーバル)

2023/08/14

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2022年度】【株式会社キッチンハイク】好きなときに、好きなところに住める人생을。今回の実証実験は、そのファーストステップ

2022/05/17

[詳細を見る](#)

実証実験レポート
【2022年度】【株式会社IKETEL】「ITの力」×「人の力」で地域を越えた事業連携を支援 社会課題を解決に導くビジネスのカタチ

2022/05/17

[詳細を見る](#)

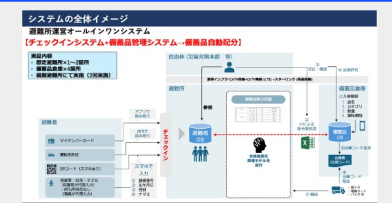
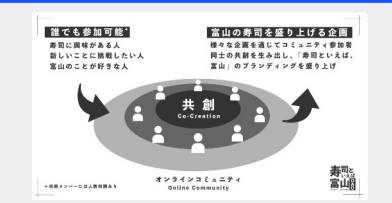
実証実験レポート
【2022年度】【NTTコミュニケーションズ株式会社】ベビーテックで子育てを支援 画一的なものから、選択肢を増やした先に広がる世界

2022/05/17

[詳細を見る](#)

過去の実証実験プロジェクト例

先進のデジタル技術を活用して地域課題を解決する実証実験を
Digi-PoC TOYAMA(デジポックとやま)実証実験プロジェクトとして推進しています。

テーマ	事業者名	ソリューション	R7年度自治体予算	R7年度の継続支援
災害時における避難者の情報管理、 災害備蓄品の管理			活動予算は iCNの事業予算	民間を巻き込んだ 拡大実証の実施 (射水市、南砺市etc)
関係人口の創出・繋がり深化			自治体 予算一部確保	Toyama Connectの 県内での活用を検討 (Digi-PoCでも活用)
農業の担い手確保			自治体 予算確保	北陸銀行が 更なる広がり支援
「寿司といえば、富山」ブランディング			自治体予算 一部確保	農林水産省PJなど 広がり演出

今年が4年目の本施策。
富山県が抱える地域課題をデジタルソリューションで解決する事例を創出し、
ビジネスモデルの構築につなげることで、本県における産業・地域社会のDXを推進します。

Digi-PoC TOYAMA

ウェルビーイングな世界を切り拓く

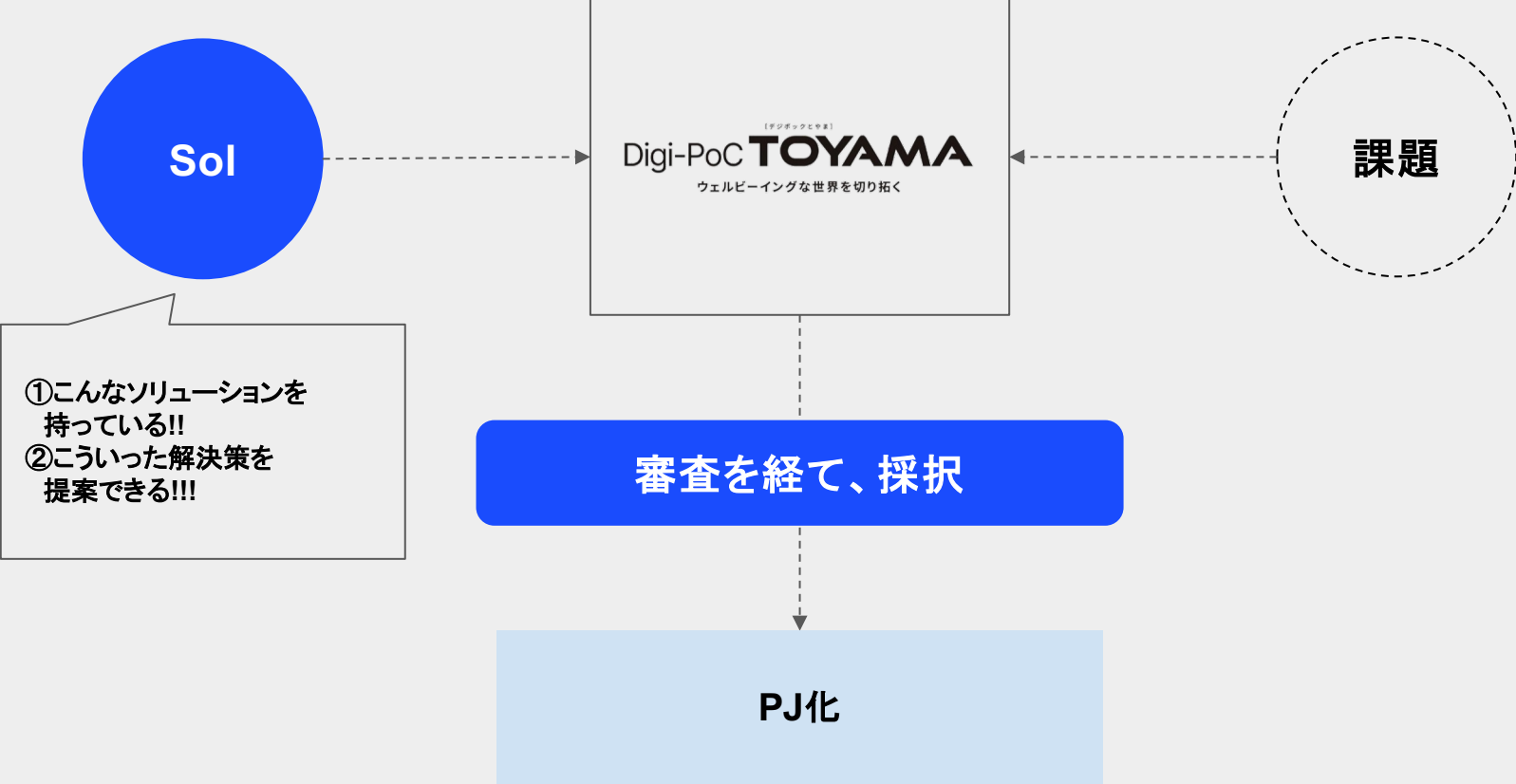
主催



企画・運営



今回の募集では、
設定された課題解決に資するソリューション(Sol)を持つ企業を公募します。



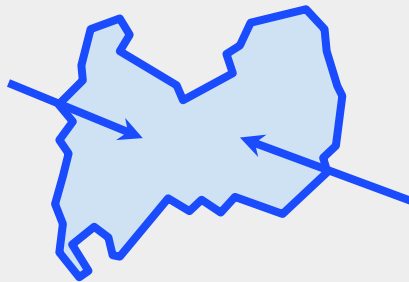
富山県というフィールドを存分に活用して実証実験とその先の実証費用を支援するために最大300万円の実証費用を支援するための仕組みを構築しております。

実証実験にかかる費用を業務委託として経費を上限300万円まで10/10交付！



ビジネスモデルを
具現化

実証実験にかかる費用を業務委託として
経費を上限まで10/10交付！
新たなビジネスモデル検討の原資に。



富山との
関係性構築

県内企業等との連携をサポート！
地方進出、拠点づくりの足掛かりに。



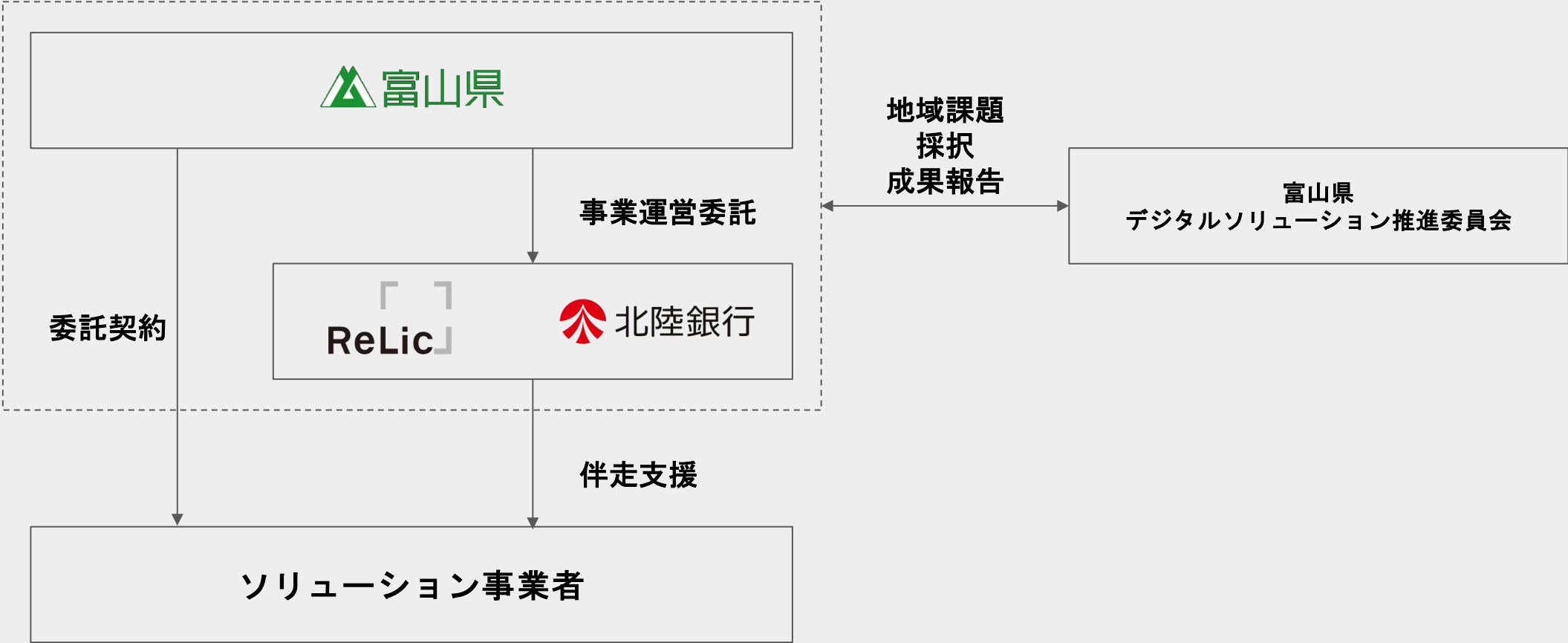
自社ビジネスの
認知拡大

実施された実証実験はサイトでの
発信をはじめ、富山県がPR！

富山県および市町村の抱える課題を厳選して設定しております。
一緒に解決に向かって取り組んで参りましょう。

	テーマ名	解決したい課題
1	「とやまデジタル県民コミュニティ」の創出・活性化	・リアル拠点だけでは拡張性が不足 ・若年層ファンの拡大が必要 ・デジタルで首都圏リソースを富山へ還流する仕組みが未整備
2	新規・リピーター獲得戦略の立案と、富山県への誘客効果の測定	・来店者属性・購買データの取得活用が不足 ・個別ニーズに合わせた施策設計・効果測定が不十分 ・来店から富山訪問への誘客効果を可視化できていない
3	介護サービスの担い手確保と負担軽減	・介護人材が慢性的に不足 ・長時間労働による肉体・精神負担が大きい ・外国人材活用が進まず、教育支援が不足
4	河川モニタリングの最適化と情報発信	・監視カメラ・流量観測のカバーと精度が不足 ・洪水時の被害状況を迅速把握できない ・県民へのリアルタイム情報提供が不十分
5	林業の担い手確保	・若手林業就業者の確保・定着が困難 ・重労働・高事故率で職場魅力が低い ・山間地の通信環境が悪く業務効率が低い
6	中山間地域における農地の現地調査の効率化	・山間農地の現地調査が人手依存で非効率 ・衛星・航空写真等データ活用が進んでいない ・将来的な職員不足に備える効率化が必要
7	持続可能な農業の確立	・農業従事者減少・高齢化で耕作放棄地が増加 ・集落営農の後継者確保が困難 ・米依存から多品目への転換と新規経営体創出が進まない

運営受託事業者である 北陸銀行・Relic がソリューション事業者を伴走支援する体制を構築しております。
伴走支援では関係者とのマッチングや実証実験の調整支援および、事業開発に対するメンタリングを想定しております。



北陸銀行は富山県に根付いた支援が可能であり、Relicは多数の実証実験への伴走支援実績がある会社です。

富山県に寄りそう地域密着銀行

新規事業開発やイノベーション創出を支援する事業共創カンパニー



自治体、取引先等のリレーションを活用

専門的なノウハウとシステムの提供

富山県

ノウハウ

システム

預金シェア

貸出金シェア

メインバンク調査

取引先社数

4,000 社以上

業界業種問わず大手からベンチャー・スタートアップまで幅広いトップクラスの取引実績

クライアント/パートナー/導入企業の継続率

98 %以上

高い満足度と中長期的なお付き合い

国内シェア

No.1

イノベーションマネジメントPFとして導入社数/利用者数第一位

導入者数

2,000 社以上

利用者数

50,000 人以上

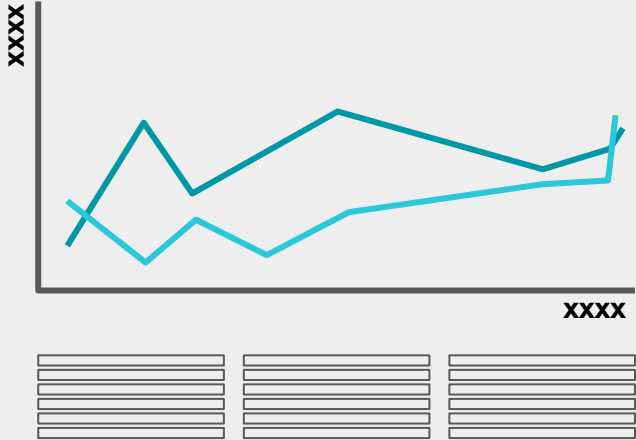
大企業からベンチャー/スタートアップ企業まで様々な業種の新規事業開発において導入・利用

第**1**位

第**1**位

第**1**位

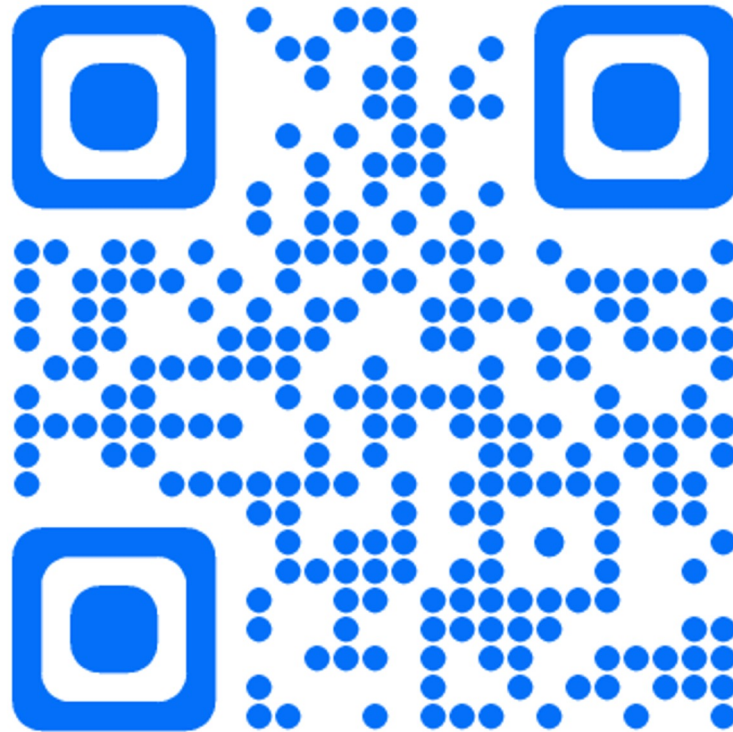
3つの構成要素から応募資料を作成ください。

	応募フォーム	実証実験イメージ図	実証に関わる3カ年の事業計画
イメージ			
ポイント	17項目+右記2項目の資料にて評価 テキストで言語化されていることに期待	フリーフォーマットで記載可能 検証ポイントの明確化に期待	フリーフォーマットで記載可能 社会実装を想像できるような計画に期待

締切までは約1ヶ月です。
ぜひ、奮ってご応募ください。

- 5月26日(月) 13:00 • 公募開始
- 5月27日(火) 14:30 - 17:00 • 応募説明会@富山
- 5月29日(木) 15:00 - 17:30 • 応募説明会@大阪
- 6月23日(月) 10:00 • 締切

ぜひ、奮ってご応募ください。



各担当者によるテーマピッチ

「とやまデジタル県民コミュニティ」 の創出・活性化

富山県首都圏本部・観光振興室
田崎 博勝

富山県成長戦略の掲げるビジョン

幸せ人口1000万

～ウェルビーイング先進地域、富山～

富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など愛着を持って関わる全ての人が、富山の仲間。

県内人口に縛られず、皆さんと共に、幸せという大きな傘のもと、「幸せの関係人口1000万人」を目指していく。

【本県の関係人口】

- 全国アンケート調査を実施し、本県の関係人口を推計
- 調査結果を基に、関係人口の拡大・繋がり深化に向けた施策を検討

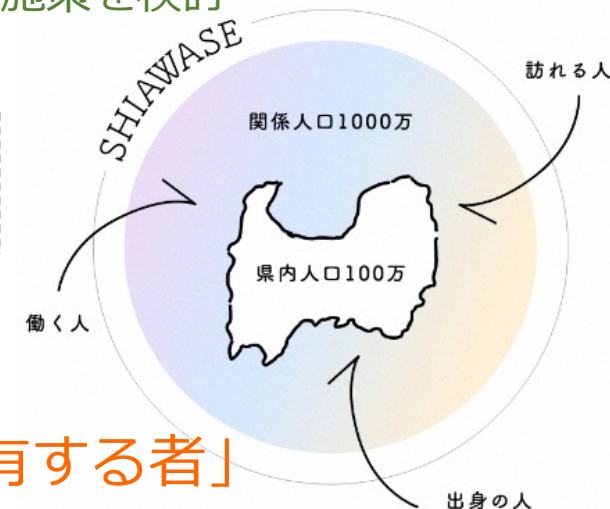
01 県外に在住し、

02 本県と関わる(行動する)者のうち、

03 強い関係性をもつ者…他の都道府県でも同様の選択肢がある中で

「あえて富山県」を選択する者で「直近1年間に1回以上の関係を有する者」及び地縁・血縁者

ボランティア等での地域貢献や、富山ブランドに惹かれて県産品を購入、SNS等により本県の情報を発信している方など



日本橋とやま館の設置場所



おかげさまで2016年の開業から
本年で9周年を迎えました！

【所在地】
東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1階
【アクセス】
東京メトロ
半蔵門線・銀座線「三越前駅」B5出口すぐ

三越日本橋
本店の真向かい
日本橋すぐ横

周辺は三井不動
産などの大規模
な再開発が進む



日本橋とやま館の拠点概要

富山の日常の上質な「**ライフスタイル**」「**とやまの1/365**」を伝える

ショップフロア&トヤマテーブル



和食レストラン「富山はま作」



バーラウンジ「トヤマバー」



交流スペース



館内5部門が連携して、
年間約150本の企画展示・イベント・WSを開催。

ご来館のお客様に富山の様々な日常の魅力を体験・体感。

富山県産材を多用し(立山杉、五箇山和紙、城端しけ絹等)、富山空間を演出。

観光交流サロン



日本橋とやま館の現状（活動実績①）

- 首都圏での関係人口創出の拠点施設として、富山のライフスタイル・歴史文化・食等に関する各種活動を通じて、富山ファン（関係人口）拡大に努めてきた。
- 県内の各種団体・事業者、日本橋地域と連携し、首都圏と富山を結ぶBtoB販路開拓活動や地域の様々な社会課題解決（伝統工芸の振興等）へのアプローチも行ってきた。



室井滋さんトークショー



おわら風の盆 体験イベント



海外プレス説明会



井波彫刻・木彫りWS



寿司といえば富山イベント



三越前・麦屋節披露

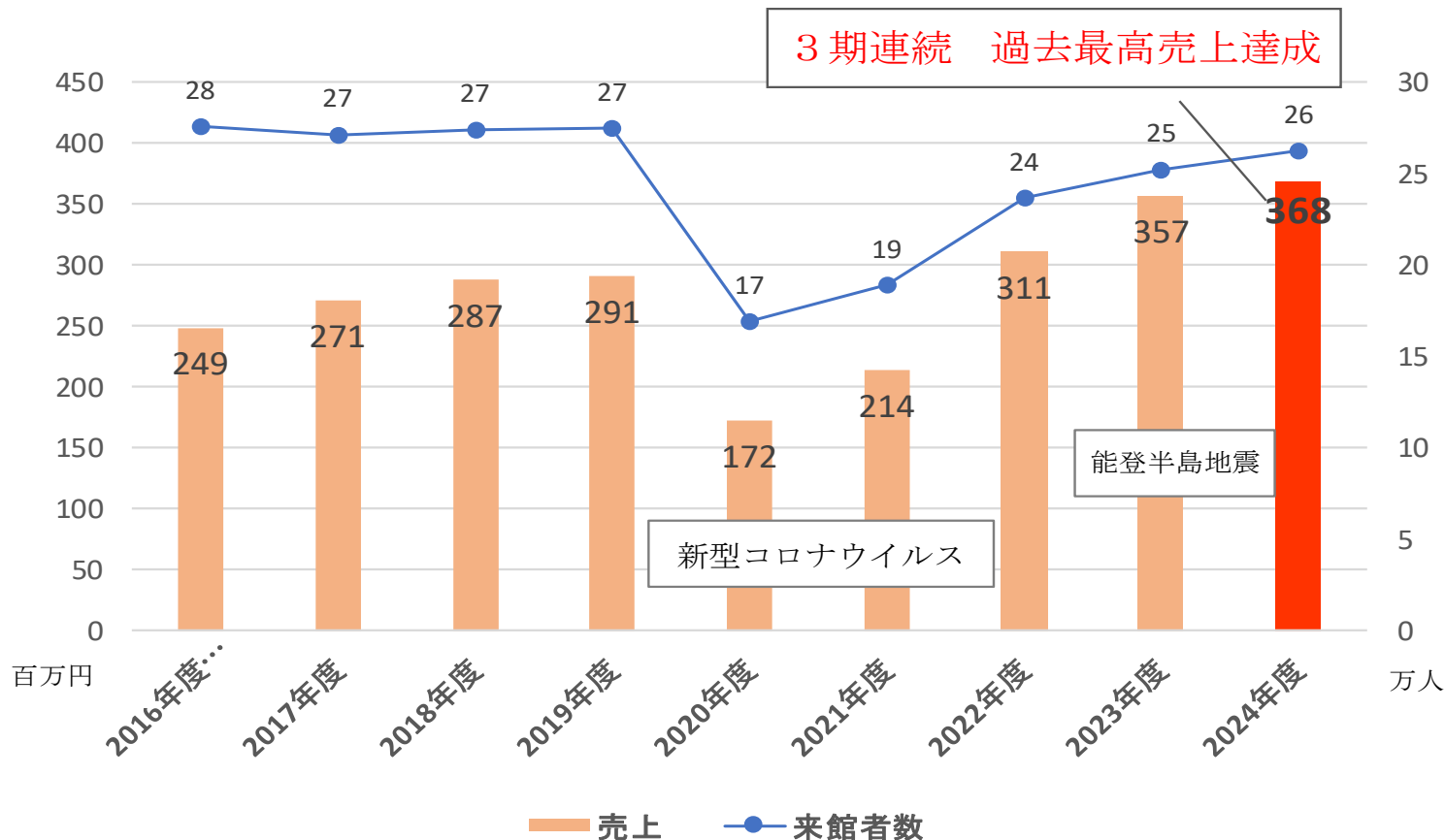


バイヤー商談会

日本橋とやま館の現状（活動実績②）

- 9年間の活動で売上・来館者・会員数・SNSフォロワー数など、一定の成果
- 現場があることは、活動を通じてリアルな反応を得られる優位性を実感

日本橋とやま館売上・来館者数(2016～2024年度)



会員数(ショップカード)約12,000人



フォロワー数 4,345人



フォロワー数 4,296人



お友達登録者数 5,663人



＜毎月発行＞
とやまごころ
(4000部)

日本橋とやま館を取り巻く背景

- 「**東京一極集中**」という日本社会の社会構造から誕生した日本独特の象徴的な存在が「**アンテナショップ**」
- バブル崩壊後、地域特産品の販売からスタートし、観光・飲食・イベント・PR・ブランディングなど多機能型へと変化し、多くの自治体にとって一定の役割を果たしてきた
- 「**東京一極集中**」の構造的問題に対する解決策という視点では、残念ながらある種の限界を迎えた状況



- テクノロジーの発展により「Society5.0」の社会が到来したことで、その限界をブレイクスルーする可能性が飛躍的に高まってきた。
- 日本独特のコンテンツである「アンテナショップ(リアル)」と「デジタル」の融合により、「東京と地方」といった障壁を超えて、東京一極集中の構造的問題の解決につながるエコシステムへと発展させていくことが期待できる。

日本橋とやま館の課題

【課題①:マクロ視点(メイン)】

リアル店舗での活動の限界や、地元事業者のさらなる活性化や地域の社会課題解決(例:空き家対策等)に向けて、首都圏のリソースを富山につなぐ役割を担うために、新たにデジタル領域での拡張性あるエコシステムの形成が課題

【課題②:ミクロ視点(サブ)】

日本橋エリアの特性として比較的年齢層が高いお客様(50～60代)客層が多く、若い世代への効果的なアプローチとコミュニティづくりが課題

デジポックで募集したいこと

【描きたい方向性】

日本橋とやま館の9年間の活動基盤(リアルアセット)を活かしたオンラインコミュニティを創出し、「リアルとデジタル両輪」でコミュニティ参加者主体の富山県の盛り上がりや地域課題解決に寄与するプロジェクトを実行する仕組み

将来的に、「東京と地方」といった障壁を超えて、東京一極集中の構造的問題の解決につながるエコシステムへと発展させていくことを期待

【ソリューション例】

- DAO(分散型自立組織)等を活用したオンラインコミュニティを形成し、参加者が主体的に企画・実践する地元応援&地域振興プロジェクト
- 日本橋とやま館アセットを活用したNFTトークン付与によるインセンティブ設計
- 富山ファンSNS連動型アイデア投稿によるデータ解析 など



新規・リピーター獲得戦略の立案と、富山県への誘客効果の測定

観光振興室 観光戦略課
長谷 明子

北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点の整備

- ・北陸新幹線敦賀開業、その先の大阪延伸や、2025年の大阪・関西万博の開催も見据え、北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点を、**大阪駅西地区の大型複合施設内に整備**
- ・**2024年7月31日オープン**

設置場所



- ・「**JPタワー大阪**」内の商業施設「**KITTE大阪**」内に設置
- ・2階（地域のアンテナショップ等が集積）の区画に出店

所在地：大阪府大阪市北区梅田三丁目
面積：敷地 約12,920㎡、延床 約227,000㎡
階数：地上39階、地下3階、塔屋2階
用途：オフィス、商業施設（B1～6階）
ホテル、劇場
竣工：2024年3月12日

情報発信拠点の概要

○名称

富山・石川・福井情報発信拠点

○開設コンセプト

北陸の魅力を体感できる国内外への情報発信拠点

○主たるターゲット

駅及び周辺施設の客、インバウンド客、出張者

○基本機能

物 販

：県産品の販売、試食・実演やポップアップイベント実施

交 流

観光情報

発 信

：**スタンディングバーの設置**、観光情報案内、
インバウンド客への外国語対応、セミナー・イベント
開催など

○店舗内に北陸三県の県産材を使用

「北陸の一体感」と「各県の特色・魅力」を最大限PR

ホクリクプラス



HOKURIKU+の店舗図（全体）

店舗図（全体）



HOKURIKU+の店舗写真（物販）

店舗写真（物販）

各県産品の売れ筋商品（海産物・地酒・銘菓等）の
ほか、チャレンジ商品や伝統工芸品など幅広く販売



・HOKURIKU+の店舗写真（観光情報・交流発信）

店舗写真（観光情報・交流発信）

店舗に各県の県産材を使用



北陸3県が連携し、テーマを決めたフェアや試食・体験イベント等の合同プロモーションを実施



しけ絹(富山県)

高岡銅器(富山県)

県産杉(石川県)

笏谷石(福井県)

北陸の最新の観光情報を発信する
コンシェルジュの配置（外国語対応）



デジタルサイネージ(189.5x106.6cm)
・北陸三県紹介映像

酒サーバーの設置

・HOKURIKU+の店舗写真（観光情報）

店舗写真（福井県物販横）

福井県物販横スペースに
北陸3県の観光地マップを設置

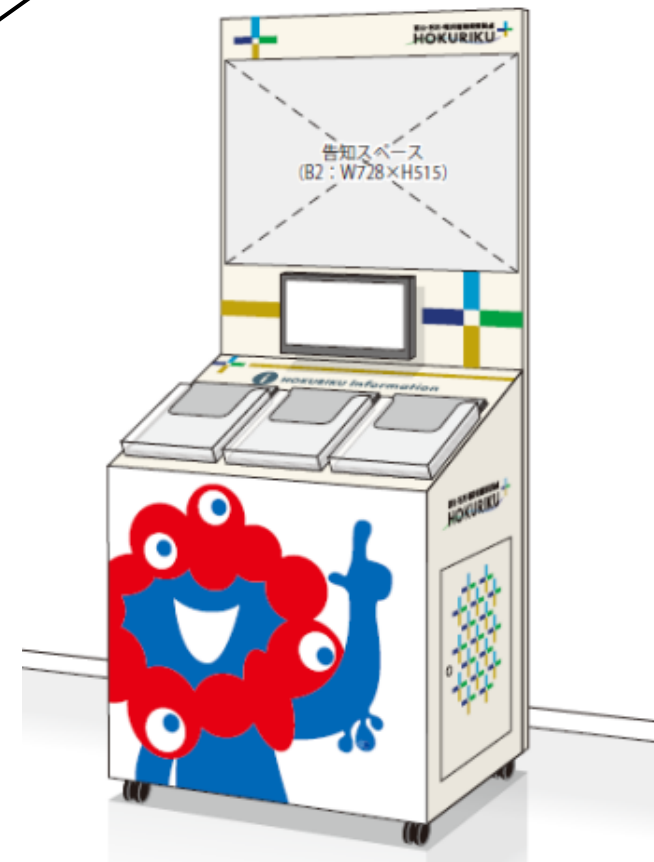


観光地マップ

(マグネットピン移動式、ポストカードは見本。
現物は観光案内カウンターにて配布)



福井県物販奥スペースに
万博特設ブース設置



万博特設ブース

(B2告知スペース、モニター13.3インチ、
A4パンフレットケース)

・デジブックで課題解決したいこと

(成果)

- ・店舗オープンからR7.5月末までで約 1 4 0 万人が来店

(現状)

・物販機能

来店者の属性（年齢、居住地、来店目的）や購買履歴等のデータが取得できていない

→ 新規顧客やリピーターに対する最適なアプローチが難しい

・情報発信機能

- ・観光案内は行っているが、それが実際に富山県への観光や体験につながったかを測定する手段がない

・デジブックで課題解決したいこと

（募集内容）

- （１）新規顧客・リピーター獲得につながる仕組みの構築
 - ・来店者の属性や行動に応じた情報提供や販促施策の最適化
- （２）富山県への誘客効果を「見える化」する仕組みの提案
 - ・観光案内やイベントが実際の訪問につながったかを把握・分析できる方法

介護サービスの担い手確保と負担軽減

福祉保健部 介護保険課
課長 黒川 格

富山県 射水市 ってどんなところ？

WHAT's IMIZU CITY

南北に10.9km、東西16.6kmのコンパクトな市です。海と山の両方を持つため、漁港や富山新港を中心とした工場、田畑など、地形を活かした産業が多数存在します。

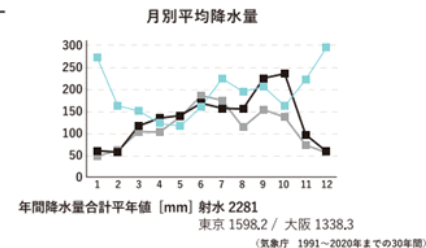
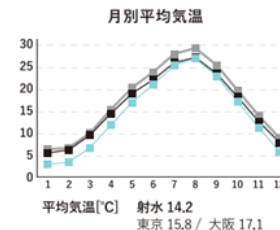


2005年11月、歴史や地形がそれぞれ異なる1市3町1村が合併し、地域性豊かな「射水市」となりました。

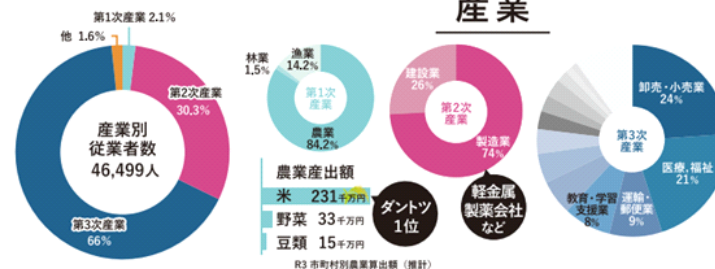
2015年3月に北陸新幹線が開業し、富山・東京間は最速2時間8分で行き来できるようになり、首都圏へのアクセスが大変よくなりました。

現在、富山・大阪間は最速2時間35分ですが、大阪・敦賀間が開業すると、最速1時間40分になる見込みです。

気象



産業



第三次産業の割合が全体6割以上を占めており、その割合は増加傾向にあります。

従業者数では、製造業が最も多く、本市にとって重要な産業となっています。

地勢

標高：海拔 0m～140.2m
河川：庄川、和田川、下条川、内川など
特徴：東西の河川の土砂の堆積によって形成された平野部と丘陵地があります。豊かな自然が四季を鮮やかに彩ります。

移動手段



人口 89,797人

世帯数 37,491世帯

R7. 5. 1 現在

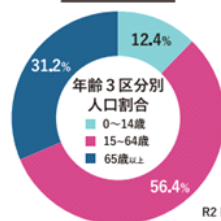
1世帯あたりの人数

射水市 2.63人

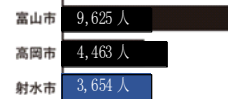
富山県 2.5人 全国 2.21人

R2 国勢調査

人口



在住外国人数



射水市は、市の総人口に占める外国人の割合が県内の自治体の中で最も多く、(4.0%) 様々な国籍の方が住んでいます。

R7. 5. 1 現在

キャラクター



射水市の現況

1 高齢者を取り巻く現状

人口

89,797人

高齢者人口

27,551人

高齢化率

30.9%

介護保険認定者数

5,452人

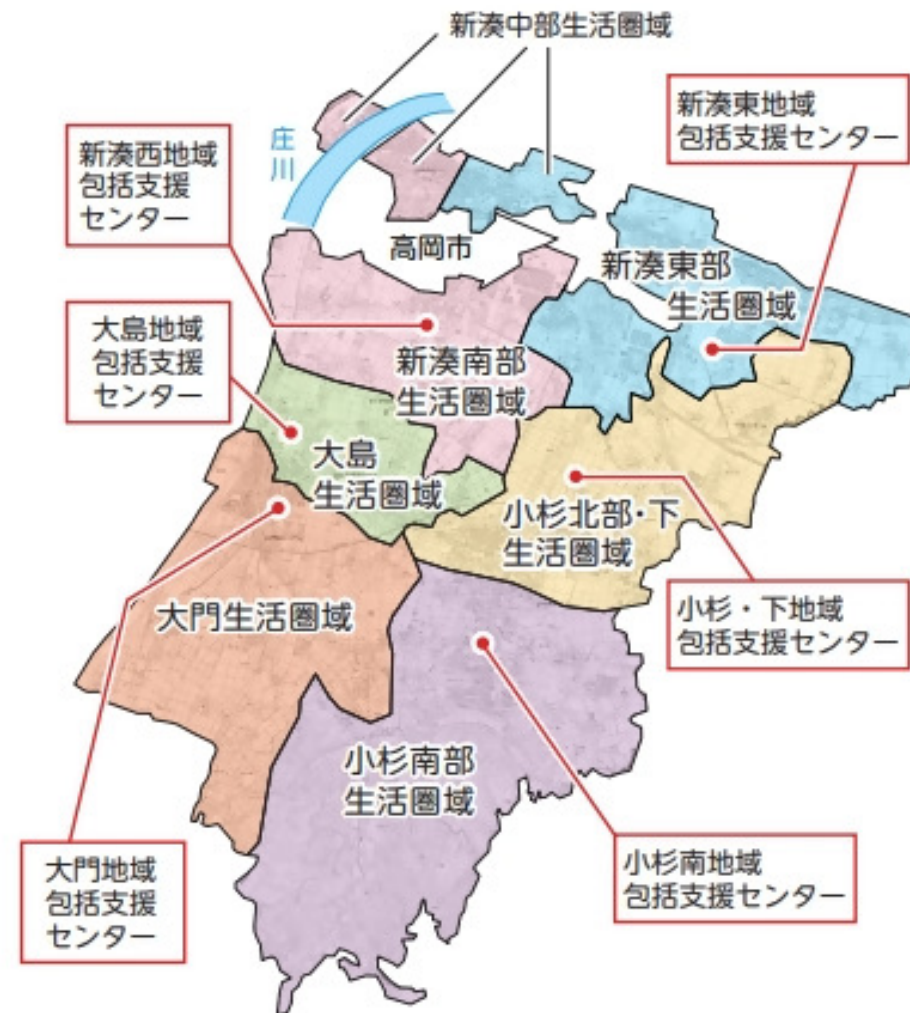
令和7年5月1日現在

日常生活圏域数

7

地域包括支援センター

6か所



射水市の現況

1 高齢者を取り巻く現状

① 高齢者人口の推移と将来推計

団塊の世代が全て75歳以上となる令和7年(2025年)を迎え、令和22年(2040年)を見通すと、高齢者人口が再びピークを迎える一方で、現役世代が急減するなど、人口構造の局面が変化する中、介護需要が高まると言われる85歳以上人口が急増していくことが見込まれる。

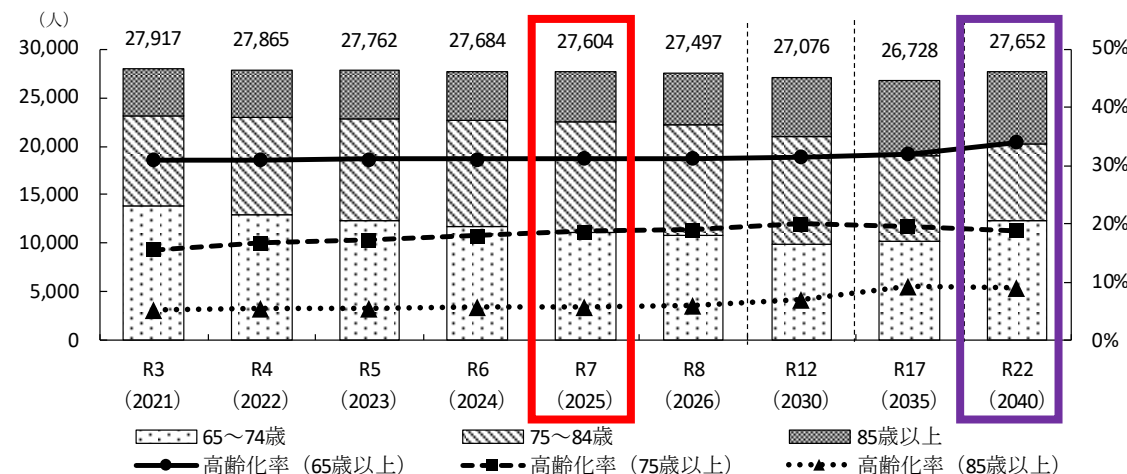
資料 令和6年3月策定

「射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」

令和6年度(2024年度)から
令和8年度(2026年度)まで (3年間)

(単位: 人)

計画	第8期			第9期			第11期	第12期	第14期
年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)
総人口	90,204	89,897	89,344	88,878	88,412	87,938	86,055	83,653	81,136
15～64歳	51,135	51,064	50,691	50,416	50,143	49,767	48,266	46,008	42,202
40～64歳	29,772	29,694	29,545	29,418	29,292	29,042	28,043	26,462	23,713
65歳以上	27,917	27,865	27,762	27,684	27,604	27,497	27,076	26,728	27,652
65～74歳	13,838	12,884	12,374	11,719	11,063	10,825	9,874	10,287	12,363
75～84歳	9,277	10,141	10,431	10,917	11,402	11,350	11,145	8,689	7,862
85歳以上	4,802	4,840	4,957	5,048	5,139	5,322	6,057	7,752	7,427
高齢化率(65歳以上)	30.9%	31.0%	31.1%	31.1%	31.2%	31.3%	31.5%	32.0%	34.1%
高齢化率(75歳以上)	15.6%	16.7%	17.2%	18.0%	18.7%	19.0%	20.0%	19.7%	18.8%
高齢化率(85歳以上)	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%	5.8%	6.1%	7.0%	9.3%	9.2%



射水市の現況

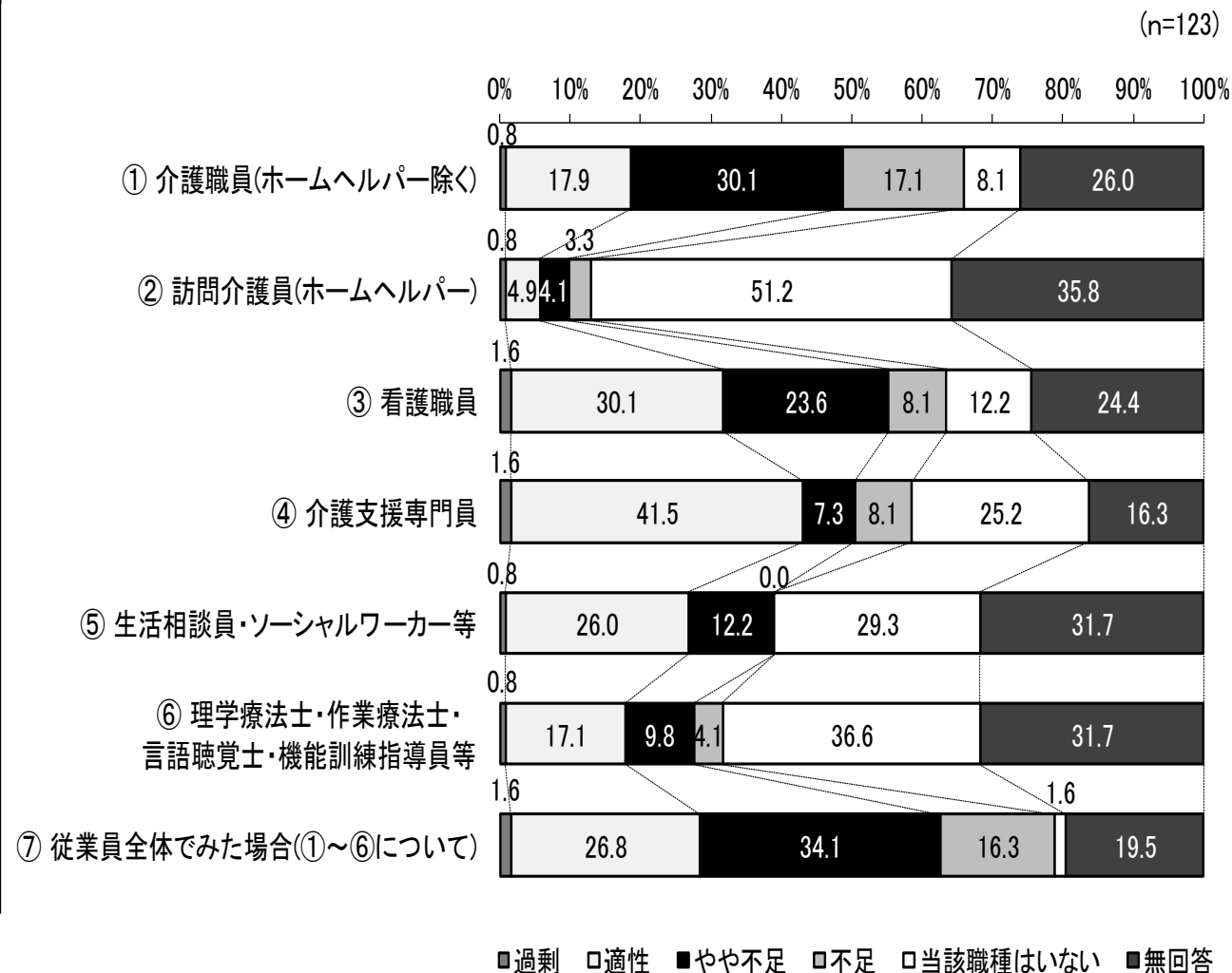
2 アンケート調査結果

- ① 職員の充足状況
介護職員・看護職員
「不足」「やや不足」の割合高

従業員全体
「やや不足」 34.1%
「不足」 16.3%

5 割以上が
不足と回答

■職員の充足状況



射水市の現況

2 アンケート調査結果

② 事業を運営するにあたっての課題

「職員の確保・育成」80.5%

「介護報酬が低い」56.1%

「業務量が多い」が50.4%

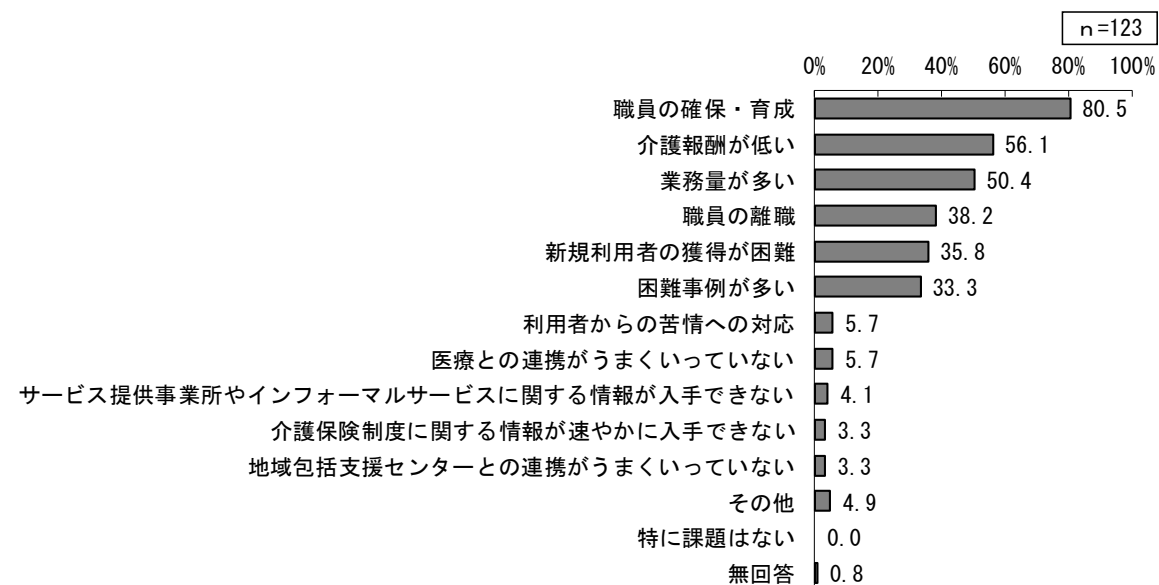
③ 外国人人材の受入状況

外国人を雇用している事業者 7.3%

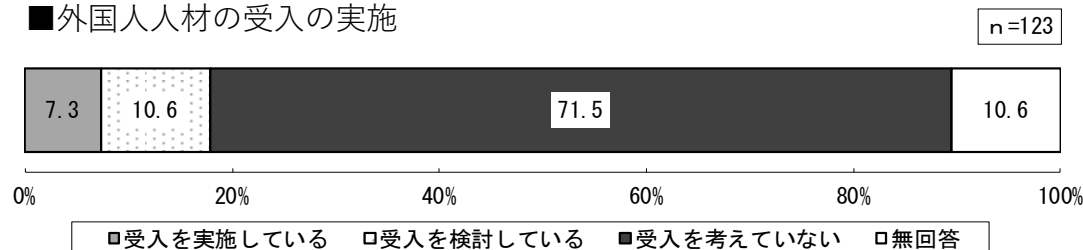
検討している事業者 10.6%

コミュニケーションや介護技術
に不安があり、雇用していない

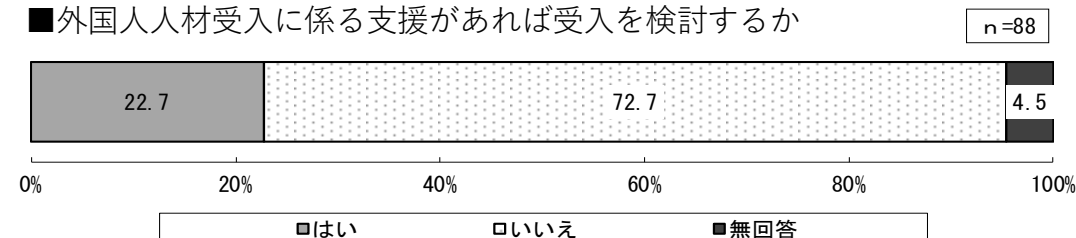
■事業展開における課題



■外国人人材の受入の実施



■外国人人材受入に係る支援があれば受入を検討するか



【課題】

- ① 介護事業の慢性的な人材不足
- ② 介護従事者の長時間労働による、肉体的精神的負担の増加
- ③ 長時間労働による、介護従事者の学習時間の確保が難しい



射水市の取り組み

・福祉人材就労奨励金

市内事業所に介護福祉士として新たに勤務される方に奨励金を支給

・福祉学生応援金

将来、市内の事業所で介護福祉士として一定期間勤務した場合は返済を全額免除する等、要件を福祉学生に特化した奨学資金制度を新設

・介護福祉士資格取得支援事業

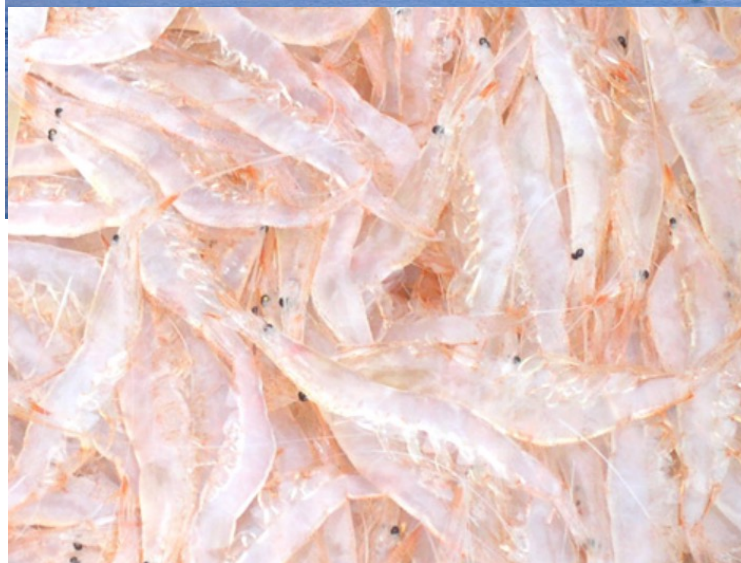
市内事業所に勤務している方で、実務者研修を受講し、試験に合格した方を対象に、資格取得に係る経費を補助

・介護の魅力PR事業

市内福祉短期大学との包括的連携事業を実施
市内企業との連携事業（介護施設で花を育てよう大作戦）

【募集するプロジェクト】

介護事業領域の人材不足を解決するプロジェクト





河川モニタリングの 最適化と情報発信

富山県河川課





河川監視カメラ・浸水センサによる河川状況の把握

現状・課題

【現状】

- 富山県では河川の水位観測を89ヶ所で行うとともに108台の河川監視カメラを設置して、県のHPにて河川の水位やカメラ画像を公開している。
- 洪水時に河川管理者が水位の上昇や被害状況の確認、また県民が自宅周辺の河川状況の把握や避難開始の判断材料とするなどに使用している。

河川カメラ

富山県河川海岸カメラ・水位情報

地図画面 地域別河川・ダム状況表 地域別カメラ画像一覧

富山県

全県 新川土木 入善土木 富山土木 立山土木 高岡土木 氷見土木 小矢部土木 砺波土木

新川土木 (魚津市、滑川市) 取得日時: 2025/05/16 18:35

観測地点: 鶴川カメラ 観測地点: 東城橋カメラ 観測地点: 月形橋カメラ 観測地点: 中川カメラ

観測地点: 沖田川カメラ 観測地点: 住吉カメラ 観測地点: 田中カメラ 観測地点: 見野カメラ

観測地点: 布部川カメラ 観測地点: 田中カメラ 観測地点: 大田川カメラ

観測地点: 富山橋カメラ 観測地点: 入善橋カメラ 観測地点: 切通川カメラ 観測地点: 大田川カメラ

入善土木 (朝日町、入善町、里都市) 取得日時: 2025/05/16 18:35

観測地点: 新田橋カメラ 観測地点: 木流橋カメラ 観測地点: 李の橋カメラ 観測地点: 山崎カメラ

観測地点: 小川橋カメラ 観測地点: 富山橋カメラ 観測地点: 富山橋カメラ 観測地点: 富山橋カメラ

河川水位計

富山県河川海岸カメラ・水位情報

地図画面 地域別河川・ダム状況表 地域別カメラ画像一覧

富山県

河川水位 河川水位 (危機管理型) ダム状況

全県 新川土木 入善土木 富山土木 立山土木 高岡土木 氷見土木 小矢部土木 砺波土木

新川土木 (魚津市、滑川市) 取得日時: 2025/05/16 18:35

河川名	観測所名	現況水位	水防回 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位
鶴川	鶴川	0.51m	↑ 0.70 m	1.00m	1.00m	1.20m
片貝川	東城橋	0.33m	→ 1.00 m	1.50m	2.30m	2.50m
早月川	月形橋	0.01m	↓ 1.90 m	2.50m	3.90m	4.90m
中川	中川	0.17m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	0.90m
沖田川	沖田川	0.19m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	1.00m
角川	住吉	0m	→ 1.10 m	1.40m	1.80m	2.10m
布部川	田中	0.29m	→ 0.70 m	1.00m	1.30m	1.80m
荒野	荒野	0.24m	→ 0.80 m	1.50m	2.30m	2.80m
片貝川	富合橋	0.81m	→ 1.80 m	1.90m	2.40m	2.70m

入善土木 (朝日町、入善町、里都市) 取得日時: 2025/05/16 18:35

河川名	観測所名	現況水位	水防回 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位
黒瀬川	新田橋	0.36m	→ 1.00 m	1.30m	1.30m	1.80m
木流川	木流橋	0.3m	→ 0.80 m	1.40m	1.70m	2.10m
舟川	学校橋	0.18m	→ 0.40 m	0.70m	1.20m	1.60m
山合川	山崎	0.35m	→ 0.70 m	1.00m	1.90m	2.30m
小川	小川橋	0.65m	→ 1.00 m	1.45m	2.80m	3.10m
吉田川	新橋	0m	→ 1.00 m	1.30m	1.30m	1.50m
高橋川	堀切橋	0.24m	→ 1.00 m	1.20m	1.20m	1.40m
笹川	笹川	0.33m	→ 0.70 m	1.00m	1.80m	2.20m
境川	境橋	1.18m	→ 1.30 m	1.50m	2.00m	2.40m

現状・課題

【課題】

- カメラを増設してほしいという要望が多いが、ランニングコストや維持管理の費用・時間も増えるため、現状対応できていない。
- 越水・溢水について、全河川の把握や浸水被害の把握が難しく、正確かつ迅速に被害状況を把握できないことがある。このことから、災害情報を県民に充分かつ速やかに届けられていない。

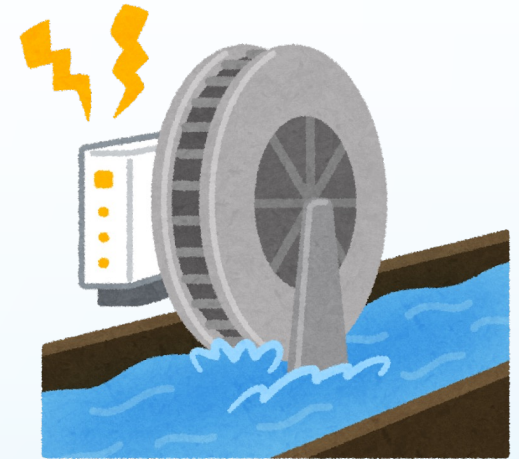


流速観測のデジタル化

現状・課題

【現状】

- 富山県には72の水位観測所にて、流速を人力で観測し、その結果を用いて河川流量を算出している。河川流量については、河川計画を策定する際や河川工事を行う際に正確な値が必要。
- 近年は水力発電所設置の検討のために河川流量の情報を求められることが多い。



【課題】

- 正確な河川流量を計測するには洪水時のデータが必要となり、洪水時の現地観測には危険が伴うなどの理由で人力による観測には限界がある。



募集するプロジェクトについて

河川の状況の常時モニタリング、あるいは情報等を**県民に
タイムリーに伝える**ことができるプロジェクト



大規模な水災害(台風・大雨)が起きた時・・・



県民

警戒レベル	新たな避難情報等	
5	災害発生又は切迫	さんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1
~~~~~＜警戒レベル4までに必ず避難！＞~~~~~		
4	災害のおそれ高い	ひなしじ 避難指示※2
3	災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)



河川管理者



# 現在河川課で行っている取り組み

## かわ とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると自動的にメールを配信

登録ユーザー

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(〇〇観測所の〇〇水位)

ダムの貯水位が上昇し、基準値を超えると自動的にメールを配信

### 配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	- 氾濫危険水位 (レベル4)   - 避難判断水位 (レベル3)   - 避難準備水位 (レベル2)   - 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が      100%の貯水位    80%の貯水位    50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水位

お問い合わせ先  
富山県土木部河川課  
防災係・開発係  
TEL: 076-444-9098  
FAX: 076-444-4417  
MAIL: akasen01@pref.toyama.lg.jp

登録はこちら▶▶▶

### 登録方法

1 「とやま河川メール配信システム」登録サイトから、受信したいメールアドレスで空メールを送信してください。

登録はこちら▶▶▶

以下URLからも登録可能です  
<https://plus.sugamail.com/user/toyama-pref/home>

2 届いた登録用URLから、受け取りたい情報を選択し、登録してください。

詳しい登録方法は  
こちらから  
ご確認ください▶▶▶

以下URLからも確認できます  
<https://www.pref.toyama.jp/documents/41441/manual.pdf>

富山県河川海岸カメラ・水位情報のご案内

県管理の河川の水位や監視カメラの画像、ダムの貯水位を確認できます。

NEW!  
R6年6月から、  
ダムの情報も追加!

富山県河川海岸カメラ・水位情報

お詫言え  
富山県河川海岸カメラ・水位情報

こちらから▶▶▶

右記URLからも確認可能です <https://kawa.pref.toyama.jp/camera/>



素晴らしいソリューションの応募をお待ちしております。



# 林業担い手の確保



富山県農林水産部森林政策課



# 森林・林業をとりまく状況



# 富山県の森林・林業の特徴、課題

- 県土の **3分の2** にあたる28万haが**森林**（全国32位）  
うち18万ha（63%）が民有林（個人・企業が保有する森林）
- 民有林面積の5万ha（28%）が**スギを主体とした人工林**  
**人工林の割合は28%で全国平均の46%と比べ低い**（全国41位）
- 人工林の課題**  
**人工林の9割が利用期**を迎え、森林資源の循環利用が必要
- 林業の課題**  
木材価格の低迷や生産コストの増加、担い手の確保のため、  
効率的な木材生産と伐採後の再造林が必要
- 木材供給の課題**  
県産材の需要拡大と品質・性能の確かな木材の安定供給  
(令和3年度 素材生産量 全国38位)



# これからの林業（作業）について

○スギ人工林の伐採が進み、花粉の発生も減少

⇒ただし、伐採後は、無花粉スギや広葉樹の植栽が必要  
植栽後も草刈りなど保育作業も増えていく

○現状、**保育作業は機械化されていない** ⇒ **人手が必要**

※植栽本数を減らしたり、大苗植栽による下刈の効率化は実施済み



高性能林業機械による伐採作業



主伐材の搬出



無花粉スギの植栽



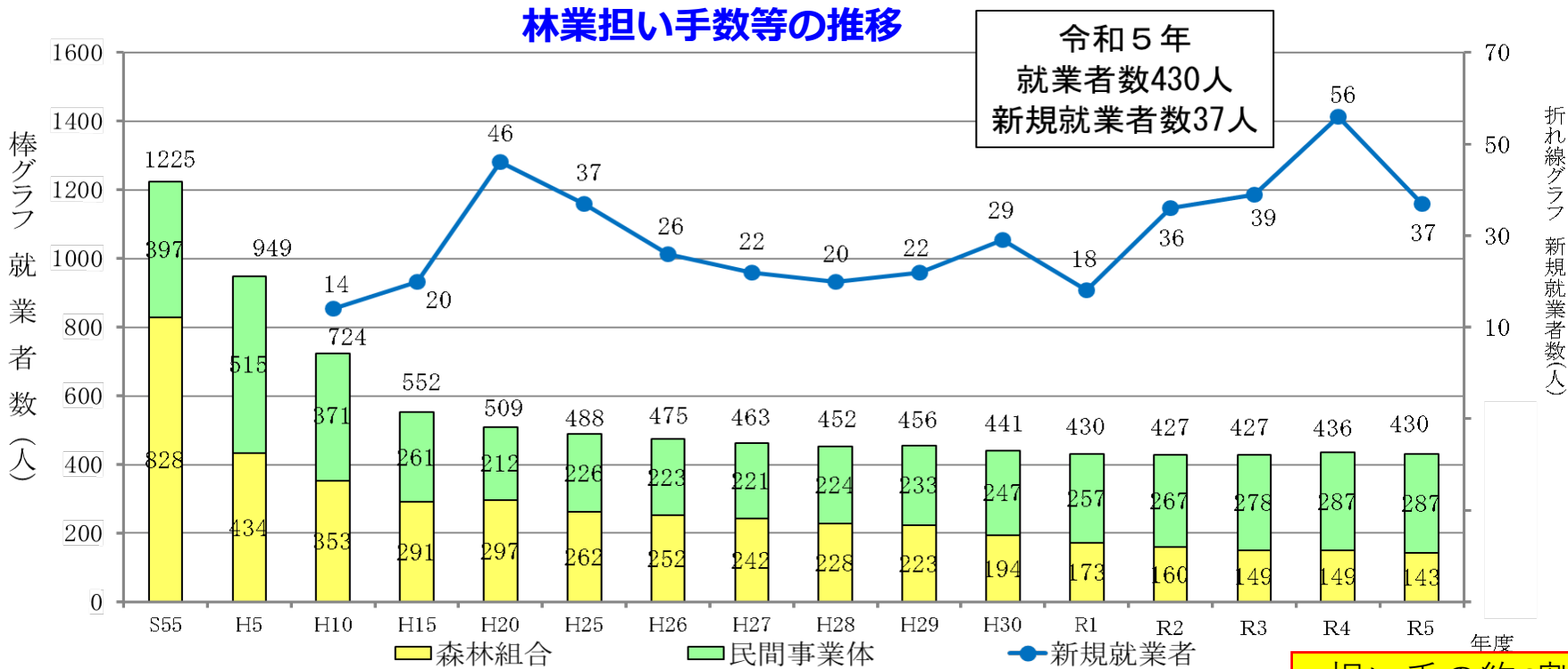
下刈り



雪起こし



# 富山県の林業担い手の現状



林業への新規就業者の定着状況

就業年	R1	R2	R3	計	R4	R5	合計
新規就業者	18人	36人	39人	93人	56人	37人	186人
3年後就業者	10人	24人	21人	55人	(43人)	(30人)	(128人)
3年後定着率	56%	67%	54%	59%	(77%)	(81%)	

林業担い手の作業種別状況

	伐出			造林保育			その他			合計
	森林組合	民間事業体	計	森林組合	民間事業体	計	森林組合	民間事業体	計	
R5	46	155	201	67	80	147	30	52	82	430

林業担い手の年齢構成

R5年度	森林組合		民間事業体		合計	
区分	人数	比率	人数	比率	計	比率
30歳未満	7	4.9%	17	5.9%	24	5.6%
30～39歳	7	4.9%	54	18.8%	61	14.2%
40～49歳	43	30.1%	58	20.2%	101	23.5%
50～59歳	52	36.4%	54	18.8%	106	24.7%
60歳以上	34	23.8%	104	36.2%	138	32.1%
計	143	100.0%	287	100.0%	430	100.0%

担い手の約6割が50代以上という状況

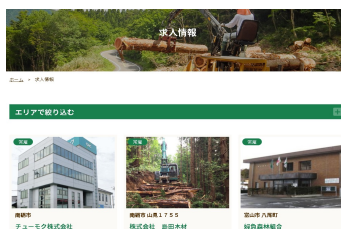
# 担い手の確保と育成

## ○林業担い手センター

- ・ 就業相談会の開催や就業希望者と事業者とのマッチングを支援
- ・ 林業就業に関する情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」の運営
- ・ 高校生や大学生等を対象とした体験林業等の実施（7回、137名）
- ・ 林業事業者向けにSNSによる情報発信のためのセミナーの開催



協力：平田美紗子氏



求人情報



とやま林業 (Wワーク編)  
YouTube

令和5年度閲覧実績 (R5.4.1～R6.3.31)

都道府県別件数

順位	都道府県	件数	割合
1	東京都	1,701	26.1%
2	富山県	1,683	25.8%
3	大阪府	486	7.5%
4	愛知県	251	3.9%
5	北海道	182	2.8%
6	神奈川県	135	2.1%
7	新潟県	124	1.9%
8	埼玉県	113	1.7%
9	石川県	111	1.7%
10	京都府	110	1.7%

## ○富山県林業カレッジ

- ・ 機械化による生産性の向上と、森林・林業を支える担い手の労働強度の軽減を目指す。
- ・ 近年は「これまでの現場における林業技術」と、最新の地理空間情報やICT等先端技術である「スマート林業に関する技術」を融合し、現地で活用・実践できる人材を育成



架線集材研修



VRシミュレーターの導入



大型ドローン操作



現地でのチェーンソー研修

# デジポックを活用して改善したいこと

○目標：令和13年度の林業担い手数 430人（現状維持）

**林業の担い手をいかに確保（定着）させるか！**

○県内18事業体などを対象に、デジタルのチカラを活用し、

⇒新卒者、セカンドキャリアなど問わず、**潜在的な適格者に効率的に情報を届けられないか？**

⇒「就業環境の改善」や「労働の効率化」、**「労働強度の低減」などが図られないか？**

⇒事業体が**実証以降も取り組める**内容とは？ etc

上記を問わず、**幅広く、ご提案、お願いします!!**

ご提案にあたり、「富山県林業イノベーション推進協議会」の取り組みも参照願います。

<https://www.pref.toyama.jp/1603/sangyou/nourinsuisan/ringyou/inobe/houkokusyo.html>



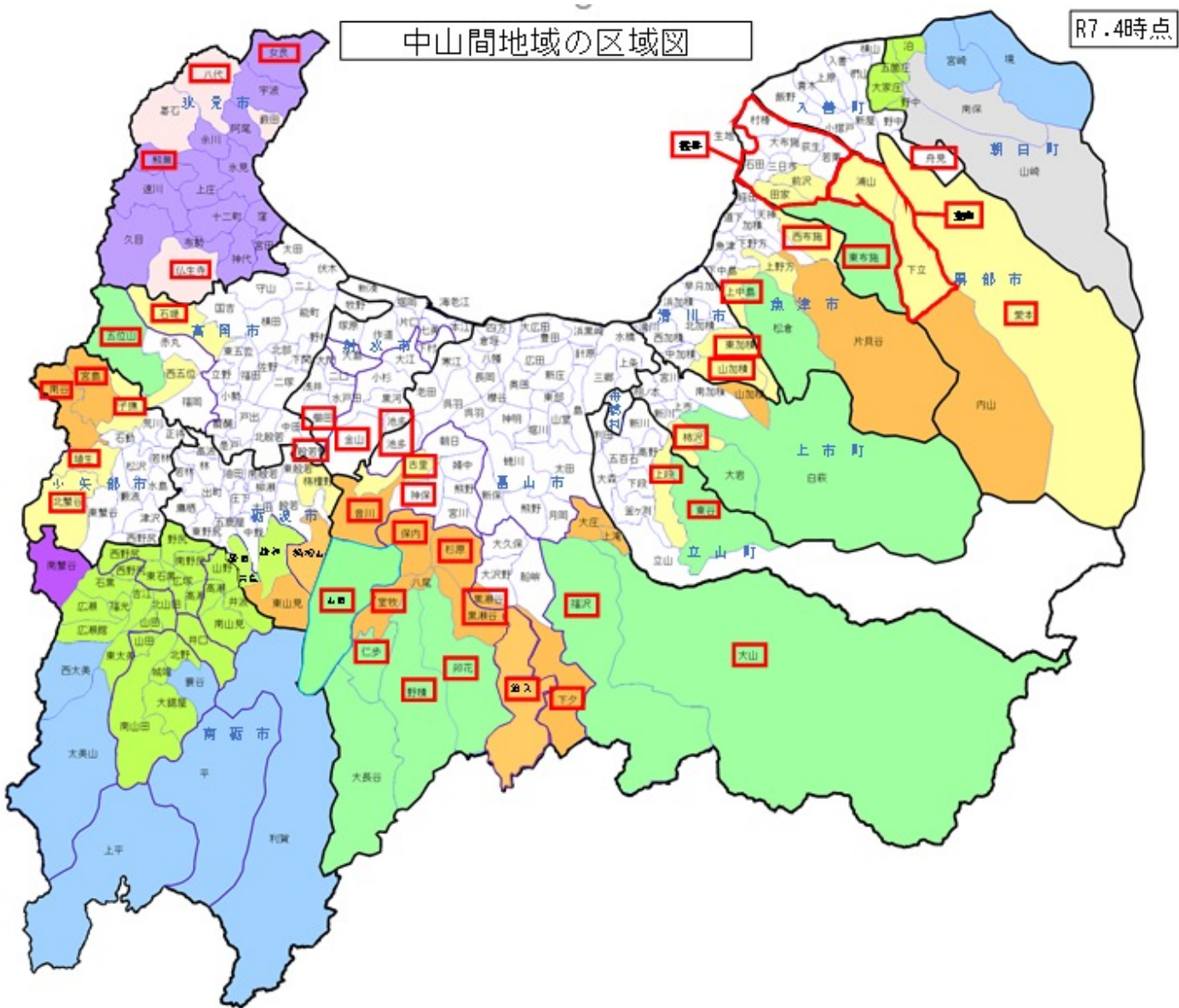
# 中山間地域における農地現地調査の効率化

---

富山県  
農林水産部農村振興課



# 富山県の中山間地域について



富山県の中山間地域は、県全体に対して**面積7割超**、**人口約2割**を占めており、**県土の保全**、**水源の涵養**、**文化の継承**、**自然と触れ合う機会の提供**、**食料の安定的な供給**等について重要な役割を担っている。

凡 例	
	市町村界
	旧市町村界
	旧旧市町村界
	特定農山村地域のみ
	過疎地域のみ
	過疎地域、半島地域
	振興山村地域、特定農山村地域
	振興山村地域、過疎地域
	振興山村地域、特定農山村地域、過疎地域
	特定農山村地域、過疎地域
	特定農山村地域、過疎地域、半島地域
	知事特認地域(中山間地域等直接支払制度)

・・・指定棚田地域



# 中山間地域農業の現状

## <中山間地域農業の主な課題>

- ①人口減少・少子高齢化による**農業の担い手が不足**
- ②小規模・分散・傾斜地など**不利な地形による生産効率の低さ**
- ③**耕作放棄地・荒廃農地の増加**
- ④**鳥獣害（イノシシやシカ等）**や自然災害への対応の難しさ
- ⑤スマート農機等の省力化技術導入や通信インフラ整備の遅れ



**これら課題が複合的に中山間地域農業の持続性を脅かしている。**

中山間地域の農業は、厳しい生産条件のもと、食料生産基盤としての農地維持が重要となっていることから、**平場の農地との条件不利解消を目的に平成12年度から「中山間地域等直接支払制度」が実施**され、県内中山間地域でも制度を活用して、農地維持や生活環境の保全等の取り組みが行われている。



# 中山間地域等直接支払制度の概要

- 農業生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持し、多面的機能の確保を図るため、**集落協定等**に基づき、**5年間以上継続**して農業等を行う農業者等に対して交付金を交付。
- 平成12年度に制度が始まり、**第6期対策**が令和7年度から開始（11年度までの5年間）。
- 平成27年度から、「**農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律**」に基づいて実施。

## 対象地域

- ① 特定農山村法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法及び棚田地域振興法等の指定地域
- ② ①に準じて、都道府県知事が特に定めた基準を満たす地域

## 対象者

集落等を単位とする**協定を締結し、5年間以上農業生産活動継続**する農業者等

## 対象農用地

- ① 急傾斜地（**田：1/20以上**、**畑：15°以上**）
- ② 緩傾斜地（**田：1/100以上1/20未満**、**畑：8°以上15°未満**）
- ③ 小区画・不整形な田
- ④ 高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農用地
- ⑤ 積算気温が低く、草地比率の高い草地
- ⑥ ①～⑤の基準に準じて、都道府県知事が定める基準に該当する農用地

## 交付単価

地目	区分	交付単価/10a
田	急傾斜(1/20～)	<b>21,000円</b>
	緩傾斜(1/100～)	<b>8,000円</b>
畑	急傾斜(15°～)	<b>11,500円</b>
	緩傾斜(8°～)	<b>3,500円</b>

## 交付金の主な使途（例）



【共同利用機械で農作業】



【集落共同で水路の江ざらい】



【水路の蓋設置】

## 本県の「中山間地域等直接支払制度」活用状況（R5実績）

- 中山間直接支払対象面積：5,796ha
- 中山間直接支払取組面積：**4,948ha**
- 取組率：85.5%（取組状況：14市町・320協定）

# 中山間地域等直接支払制度における実施状況の確認について

集落協定農用地 1 筆ごとに、自治体職員が現地見回り等にて作物の栽培等の実施状況確認を行う必要がある（毎年10月末までに実施）。

自治体によっては農業者等集落協定関係者に立ち合いを求める場合もある。

＜根拠規定は次ページ参照＞

## ＜課題＞

中山間地域等直接支払制度における実施状況確認について、**本県では現地見回りを中心に実施**されているが、全農地の**確認作業にはかなりの労力が必要**。

今後、自治体や集落協定の**マンパワー不足が進み、現地見回りの対応が一層困難になることが予想**されることから、**実施状況確認の迅速化・効率化が急務**。

（現地確認を行う**某自治体担当者のコメント**）

- ・対象農地が多く、現地確認業務に多くの時間を要する（**職員4人で2か月かけて現地見回りを実施**）。
- ・対象農地は山間地に多く、**現地への移動だけで片道1時間**かかるところもある。
- ・悪路（急傾斜・狭い農道、未舗装・旋回スペースが無い等）が多く、**自動車運転が危険**（脱輪やパンク、横転事故の経験もあり）。
- ・衛星データや航空写真等で**確認が必要な農地を絞り込めるのであれば、大幅な業務軽減が期待**できる。

## 中山間地域等直接支払交付金実施要領（抜粋）

### 5 実施状況の確認

市町村は、集落協定又は個別協定に定められている事項の実施状況について確認する。

## 中山間地域等直接支払交付金実施要領の運用（抜粋）

### 第 10 農業生産活動等の実施状況の確認

実施要領第 6 の 5 の「実施状況の確認」については、以下により行うものとする。

1 集落協定に定められた農業生産活動等及び多面的機能を増進する活動の実施状況の確認及び個別協定に定められた農業生産活動等の実施状況の確認については、**別記 7 のとおり**とする。

2 1 の確認は、**当該年度の 10月31日までに行う**ものとする。

（別記 7） 集落協定及び個別協定の実施状況の確認について

交付金の交付に当たっては、毎年度、集落協定又は個別協定の対象となる協定農用地の農業生産活動等の実施を確認するものとし、その確認事項、確認方法及び事務処理は以下のとおりとする。

なお、実施状況の確認に当たって、協定において交付金の不適切な運用が疑われる場合は、事前に通知を行わず、抜き打ちにて確認を行うこととする。

#### 1 確認事項及び確認方法

確認事項及び確認方法については、次に掲げるとおりとする。

確認事項	確認方法
1 作物の栽培又は農用地の管理の適正な実施	集落協定及び個別協定で規定している行為の実施状況並びに実施要領の運用第 7 の 1 の(3)のキの「交付金の使用方法」の規定について、 <b>現地見回り</b> 、農地法第 30 条第 1 項に規定する利用状況調査に関する調査結果、 <b>写真（航空写真含む。）</b> 、 <b>衛星画像</b> 、 <b>航空機（無人航空機含む。）</b> 、現地の状況を把握できる資料、関係資料等（経営所得安定対策、多面的機能支払交付金の現地確認結果等）により確認。利用権の設定等については農地法第 3 条の規定に基づく許可書、農地中間管理事業の推進に関する法律第 18 条に基づく農用地利用集積等促進計画又は農作業受委託契約書等で確認
2 集落協定で定めている多面的機能を増進する活動の実施	現地見回り又は関係資料等の方法により確認
3 集落協定で定めている農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項の実施	現地見回り又は関係資料等により確認

**第 5 期対策（R2～6）  
から確認方法に  
衛星画像等を追加。**



## <現地見回りイメージ>



自治体職員2名が車で農地マップをもとに巡回  
(このくらいのエリアで現地確認に2~3日必要とのこと)





# Digi-PoC TOYAMAで実証したいこと

## ●デジタル技術を活用した中山間地域等直接支払制度の市町村事務の効率化実証

衛星データ等のリモートセンシング技術を活用した実施状況確認の簡素化・効率化

＜実証技術のイメージ＞

衛星データ等を画像解析



現地見回りを必要とする農地を自動抽出  
(確認見回り対象となる農地を絞り込み)

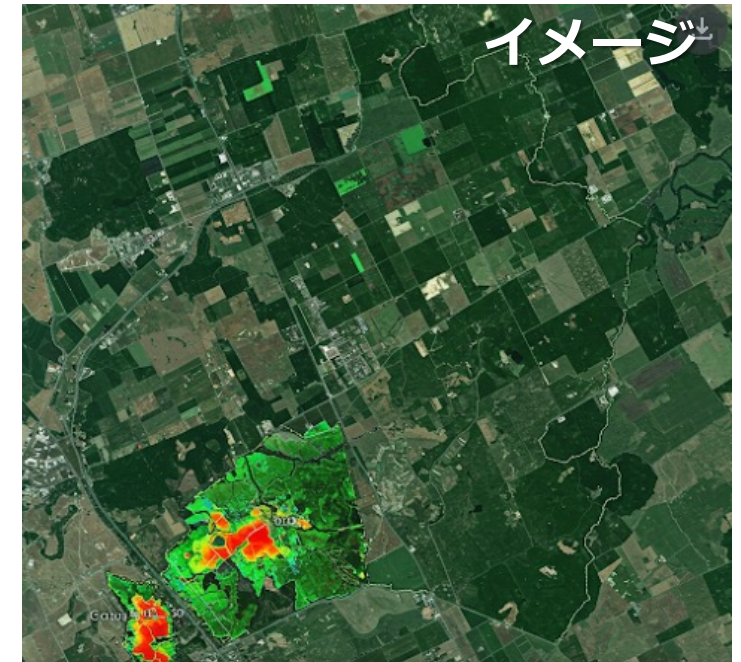


絞り込んだ農地の地図をスマホ等に表示  
(現地で位置情報をもとに農地を特定)



スマホ等で確認事項（農地写真含む）を現地入力、WEB上でデータ集約

～上記の事務効率化ツール（アプリ等）の開発・実証～





本実証の成果が、「多面的機能直接支払制度」や、他の市町村の農地管理業務にも応用できると考えており、事務負担の軽減や持続可能な農地管理体制の構築につながることを期待しています。

皆様からの  
魅力的なご提案をお待ちしております！



# 持続可能な 農業の確立

令和 7 年 5 月

富山県農林水産部

農業経営課経営体支援係

中村一要 池田博一

# 1 富山県農業の特徴

項目	規模	全国順位
水田率(R5)	95.2%	1位
農業産出額(R5)	588億円	42位
うち、米の産出額	388億円	14位
うち、園芸の産出額	86億円	47位
集落営農法人数(R6)	483経営体	1位
集落営農の経営耕地割合(R6)	38%	4位

米が  
66%

集落単位で米作りが多い



米に特化した農業構造

## 2 富山県農業の現状

- 農業者平均年齢は71.3歳で全国68.8歳に比べ15年早く進行
- 農業経営体数は、2020年12,356経営体が2030年7,118経営体に減少(▲42%)の見通し

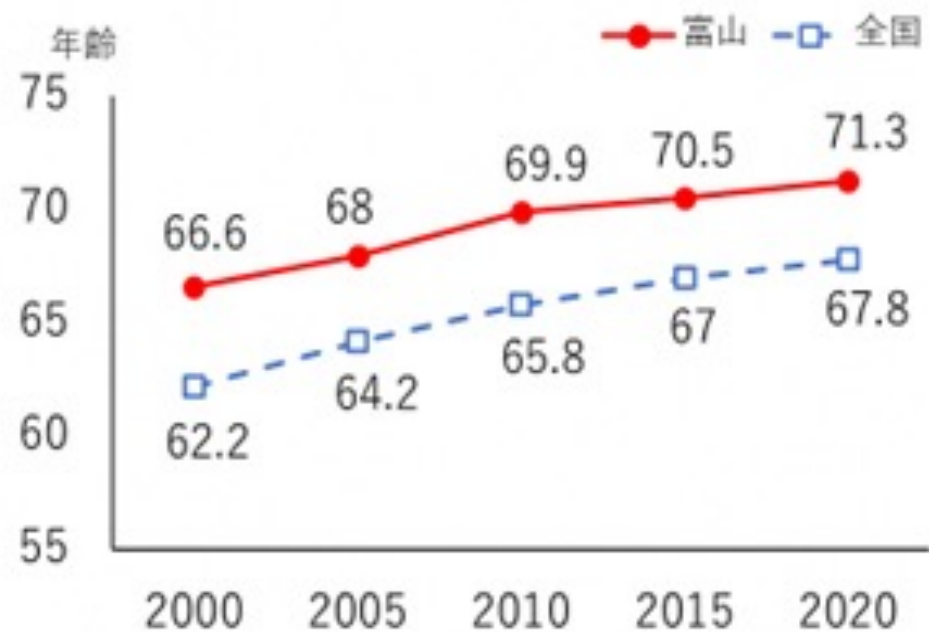


図 農業従事者の平均年齢の推移  
(出典：農林業センサス)

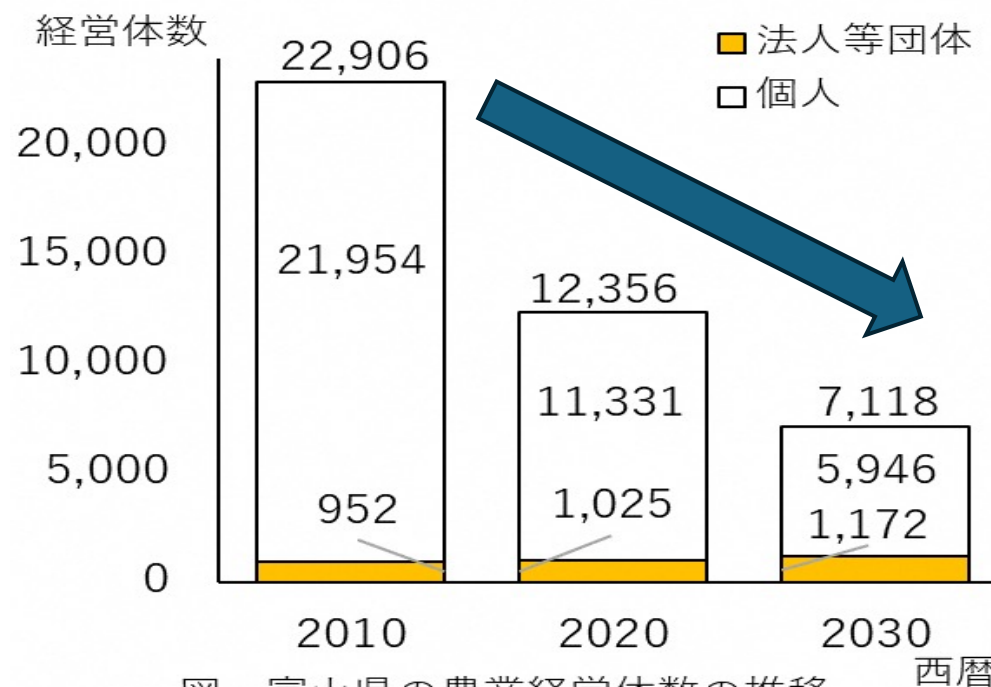


図 富山県の農業経営体数の推移  
(出典：農林業センサス)



## 2 富山県農業の現状

- 集落営農は、67%は後継者が無く、75%は5年後の労働力確保が困難(R5)
- 農地をリースして農業経営を行う、いわゆる企業参入が少ない(R5全国45位)

※全国米穀販売事業共済協同組合は「このまま農業者の減少が進めば2030年代には米の国内需要量を国産では賄えなくなる恐れがある。」と独自予測発表(R6)

### 3 富山県農業の主な課題

米不足をチャンスとして生き残るには、人・農地・技術を次世代につなぐ必要。そのためには以下の課題がある。

#### ①担い手の負担軽減

リタイア経営体が担い手に農地を預けることが想定されるが、担い手の農地引受けのボトルネックである「草刈り」「水管理」の負担軽減が必要

#### ②企業の農業参入

後継者等を確保できないリタイア経営体の水田を活用するため、農業参入したい企業が必要

## 4 富山県農業の目指す姿

### 【目指す姿】

企業の農業参入を進め、水田活用による  
持続可能な農業の確立

### 【募集プロジェクト】

富山県の農業（主に水田稲作）において、農業の現状課題をデジタルの力で解決できるプロジェクト

→ **現在、本県での企業参入は非常に少ないですが、  
3～5年後には、企業が参入しやすい状態としたい  
このため、皆さんからの新しいアイデアを求めます！**



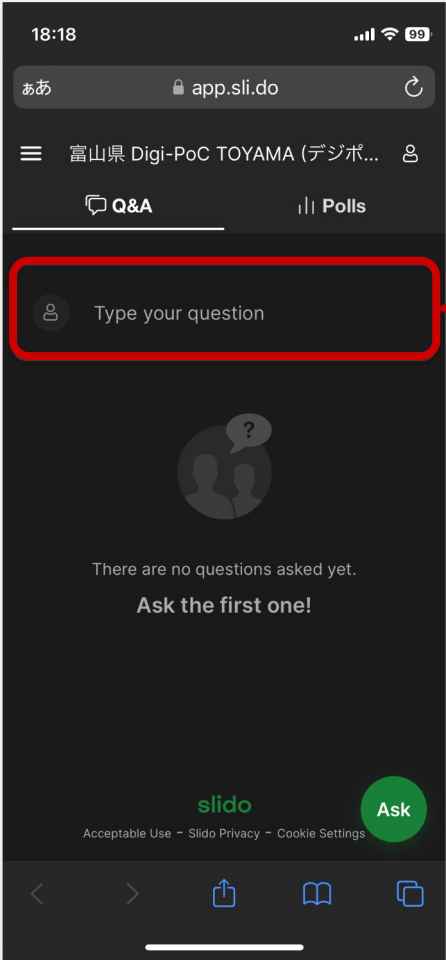
## 5 まとめ

- デジポック参加の目的：富山県農業を維持継続するため  
人・農地・技術を次世代につなぎたい
- 本県農業の特徴：米に特化した農業構造
- 富山県農業の現状：このままでは、人も米も大幅に減少
- 課題 ①担い手の負担軽減 ②企業の農業参入
- 目指す姿：  
企業の農業参入を進め、水田活用による持続可能な農業の確立

→ 5年後には、魅力ある富山県農業としたい  
皆様のアイデアをいただきたく、よろしくお願いします

# Q&A

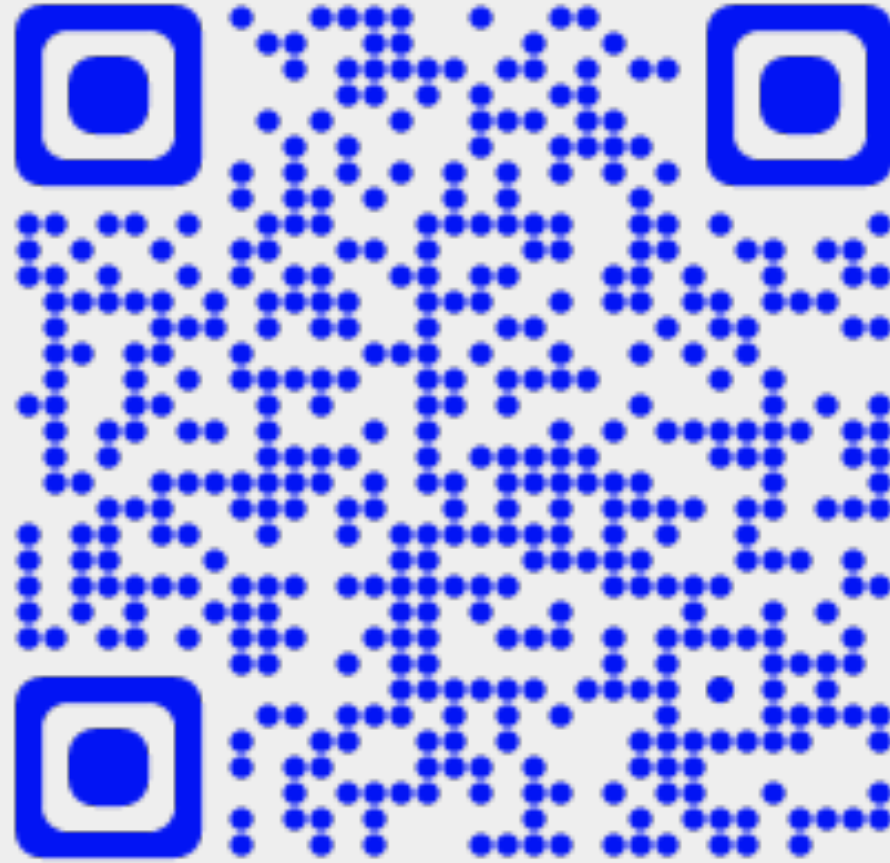
本日の説明会では、質問はSlidoで受付します。  
QRコードから登録不要で質問可能ですので、ぜひご利用下さい。



質問をご記載下さい。



本日の説明会のアンケートについてご回答お願いいたします。



# 県・市職員とのミートアップ

7つのテーマそれぞれごとにブースを設置しております。  
是非、ご興味のあるブースへお立ち寄り頂きコミュニケーションを実施頂ければと存じます。





【デジボックとやま】

# Digi-PoC **TOYAMA**

ウェルビーイングな世界を切り拓く